

# みゆきコミュニティだより

第四十五号

発行 御幸コミュニティ広報情報部

御幸地区コミュニティセンター

亀山市東御幸町二二〇―三

電話・FAX (八三一一二二三二)



## 二年間の任期を終えて

御幸地区コミュニティ会長

小林 昭一

中村前会長から引き継ぎを終えて、間もなく二年が過ぎようとしています。早いようで遅かったというのが実感です。

今、各地区コミュニティでは、市の指導による『地区まちづくり協議会』という名称で、新しい組織づくりが一部では出来、一部では設立準備等を行っています。

当コミュニティは、ご存じのように『亀山駅周辺まちづくり協議会』があるため、住民の皆様が混同されないかと思い、今のところ『地区まちづくり協議会』をつくらないという方向で考えています。

既に、当コミュニティは、自治会・各種団体等が所属しており、一応、まちづくり協議会の形をなしているのです。

ただ最終的には、『まちづくり協議会』の設立に応じなければならぬと思います。



そうなった時は、コミュニティ自体の人員構成がもう少し多くなり、皆様のこれまでに以上の協力が必要となります。

地区住民の方々が、全員でコミュニティを支えていただき、協力していただくことが重要と考えます。

最後に、今までいろいろご協力ありがとうございました。

## 「室内ゲーム&ミニ運動会」

レクリエーション体育部 副部長

中村 孝迪

二月十五日(日)、恒例の御幸地区コミュニティ会員を対象に室内ゲーム&ミニ運動会を開催しました。

十二時から健康教室を開催し、体脂肪率の測定と超音波骨量測定を亀山市保険年金室の協力を得て行いました。

参加者の多くが自分の健康に対する意識が高く、検査結果の数値に一喜一憂する場面が見られました。結果の悪い人には食事面や日頃の運動等のアドバイスもありました。



午後一時三十分からは紅白対抗形式で六つの種目を行いました。最初に体をほぐすために行った風船バレーが予想外に盛り上がりました。九十才を越える城義雄さんも元気に参加し、怪我をされないか周りがハラハラする場面もありました。

一種目は虫食い漢字を書き入れる脳トレゲームを行いました。参加者みんながいくらか考えても解答できない問題も、年配の女性が見事に解答する一幕があり、感心させられました。紅白対抗の結果は白組六六〇点、赤組五九九点で白組の勝利となりました。

高齢者中心の集いに、地域の小学生三人(女子)が参加し、随分会場を和ませてくれたことに心から感謝します。

## 参加者の感想

### 楽しかったミニ運動会

打田 道子

寒さも極まり寒の真最中ですが、室内ゲーム&ミニ運動会がみゆきコミュニティで開催されました。温室のような暖かいガラス張りの部屋で、子どもに帰った様な楽しさでした。

役員さんのお骨折りで、とても楽しくゲームをさせていただきました。紅白玉入れ、風船割り、虫食い漢字クイズ、パッコウゲームと声がかかる程、皆が笑って盛り上がりました。



## うんどう会

小学二年 大みね 一か

小学生の可愛い女の子も参加してくれて、高齢者も一緒になって楽しくゲームをしました。久しぶりの運動会、参加させてもらった人は、十歳は若返ったと思います。笑いはなしの一日でした。甘酒もおいしく出来、皆ホットしていただきました。景品も皆が喜ぶ様なものを考えていただき、感謝で一杯でした。役員さん有難うございました。

うんどう会にはじめて出ました。お友だち二人とわたしでさなかしました。

くじを引いて、わたしは白組で、お友だち二人は赤組でした。風せんバレー、風せんわり、ぜんぶで六しゅ目でした。

大人の人数ばかりだったので、できるかしんばいしましたが、白組には、わたしの大じいじの「よしおさん」がいてくれたので心強かったです。



みんながんばったので、白組が勝つ事が出きました。

来年は、大じいじと四月から一年生になる弟と三人でさんかしたいと思っています。





### 第二回クイズの当選者と第三回クイズに挑戦

第二回クイズの正解は、問題一・③きみまる 問題二・②くすり でした。応募者二十八名、全員が正解でした。正解者多数により、二月二十一日開催の「サロンみゆき」で、三角くじによる厳正なる抽選を行った結果、次の皆様が当選しました。篠原小夜子、鍛田博子、室満里子、森中悦子、藤村美代の皆様でした。今回も奮って応募ください。

#### 第三回クイズ

問題一、二月十五日開催の「室内ゲーム&ミニ運動会」で勝ったのは赤組、白組どちらだったでしょうか。

- ① 赤組 ② 白組 ③ 引き分け

問題二、「室内ゲーム&ミニ運動会」の種目に無かったのはどれだったでしょうか。

- ① 風船バレー ② 虫食い漢字ゲーム ③ ピンポンリレー

★ 応募方法・四月三十日までに、備え付けの解答用紙に記入の上、コミュニティのクイズ受付箱に投函して下さい。正解者多数の場合は、抽選により五名様に素敵な景品が当たります。

### 【投稿欄】

飽食の時代に想う

城 義雄

日本は戦争に敗れて、食糧不足で米国から食糧の援助を受けました。敗戦国民は、飢えに苦しみました。寮生活をしていた私は、米国の玉蜀黍(とうもろこし)の団子二個が一食分でしたので、空腹で闇市へ通いました。当時は、各家庭も配給米で、かぼちゃ、大根と一緒に雑炊にして食べたものです。成長期の子供をもつ家庭は大変でした。私は、通勤列車を利用していましたが、こんなことがありました。

関駅で、闇屋が窓からサツマイモの袋を投げ込んだ時、頭が天井につきました。窓は板張りで破れることはありませんでした。加太のトンネルでは、SLの煙が列車内に入ってきて、顔や首筋が黒くなりました。奈良駅では、時々、鉄道公安室や警察の取締りがあるため、列車の到着ホームが変更になり、買出しの人が慌ててホームの溝へサツマイモを落としました。当時

は「ブチャケ」と言って闇屋も恐れていました。私たちも空腹でしたので、溝に落ちたサツマイモを拾って来て飯ごうに入れ、詰所のストーブの火で蒸して、皆で空腹を満たしたものでした。また、奈良に進駐軍の基地があり、御殿場へ演習に行く時に貨車の積み込みを手伝うと、チョコレートやタバコをくれました。その時の美味しいチョコの味は忘れられません。タバコの吸殻を拾い紙で巻き直して、皆で吸ったものです。現在は、日本ではお金を出せば何でも手に入る。贅沢三昧の生活に馴れて、有難味を忘れていますが、日本は資源の乏しい国であります。彼方此方の休耕田を見るたびに、一抹の寂しさを感じるこの頃です。

### 〈短歌〉

城 義雄

民謡を

共に唄いてクラス会

男女九名卒寿を祝う

あげは蝶

百日草の蜜を吸う

ミシンのように動く口先

卒寿すぎ

草取る畑にうぐいすが

体いとえと励まして鳴く

種まきも

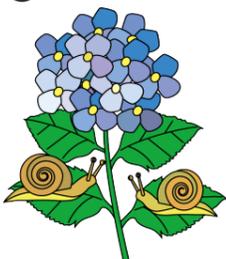
畝に掘られし円形の

穴を残して雉が飛び立つ

紫陽花の

葉に止まりたる蝸牛(かたつむり)

恵みの雨にそろそろ動く



御幸コミュニティだよりをお読みいただきありがとうございます。年間三回発行できましたのも、各部長さんはじめ、行事等の感想を書いていただいた皆様のおかげだと感謝しております。ありがとうございます。次年度もご協力をよろしくお願いたします。

広報情報部一同